

1. 交付金事業の名称 資源・エネルギー教育推進事業
2. 交付金事業の事業主体 富山県
3. 交付金事業の実施場所 富山県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要な以下の内容を実施した。

【富山県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・ 原子力・放射線の学習に関する教材の整備（砺波高校）

放射線観察実験材料一式（ドライアイス・エタノール）を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。

- ・ 発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（高岡南高校、砺波高校）

クリーンエネルギー発電効率実験セット、化学電池実験セット、太陽光蓄電セット等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

【滑川市事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・ 発電・エネルギーの学習に関する教材の整備

市内の2つの中学校を対象に電気分解・燃料電池実験装置を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

- ・ エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」の見学

市内の7つの小学校においてエネルギー科学館「ワンダー・ラボ」を見学し、発電・エネルギーの学習に活用した。

【小矢部市事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・ 原子力・放射線の学習に関する教材の整備

市内の1つの中学校を対象にペルチェ式簡易霧箱を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。

- ・ 発電・エネルギーの学習に関する教材の整備

市内の1つの中学校を対象に燃料電池電解槽等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

【上市町事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備

町内の1つの小学校を対象に火力発電実験模型、水力発電実験模型を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 2,817,310 円

交付金充当額 2,817,310 円

6. 交付金事業の成果及び評価

事業終了後に生徒に対して実施したアンケート結果による理解度については、84%の目標に対し83%の実績で、ほぼ達成できていた。このことから、教科書を用いた座学だけではなく、実際に実験などを行う体験的な学習を行う事により、放射線やエネルギーに関する興味・関心が高まり、その結果、生徒の理解が深まったと考えられる。

満足度については、目標の87%に対して、87%（達成度：100%）となっており、次年度も今年度同様に、今後のエネルギー教育の指導に活かしていくこととした。なお、購入した機器については、次年度以降も継続して授業等で活用していく。